

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371501038
事業所名	グループホーム あさひ名東

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入し回覧板を通して地域の情報を得ている。地域行事の運動会や餅つき大会などに参加し、住民と交流を図っている。また、近隣の方から古新聞や庭の花など頂いたり、ホームの庭の池（金魚）が保育園児の散歩コースになるなど、繋がりをもちながら暮らしている。紙芝居やダンス、傾聴ボランティアの訪問もあり、入居者の楽しみになっている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族代表、町内会長、地元有識者とまた、9月から地域包括支援センター職員の参加を得て、概ね2カ月に1回開催している。会議では行事、活動、入居者の様子など報告し、議題として困っている事など相談している。メンバーにはホームを第三者の観点で見てもらい、地域とのパイプ役として情報や助言を得て、サービスの向上に活かしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市役所には介護認定の更新申請や分からない事がある時に出向いている。地域包括支援センターには相談にのってもらったり、職員のレベル向上のため認知症の講座を行うなど、連携を深めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 職員は日常会話で入居者の意見や要望を聴いている。家族会は設けていないが、家族とのコミュニケーションを大切に、家族の面会時には職員から声をかけ、意見などを聴いている。「農業センターに行きたい」など入居者から出された意見、要望は会議で話し合い反映している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。